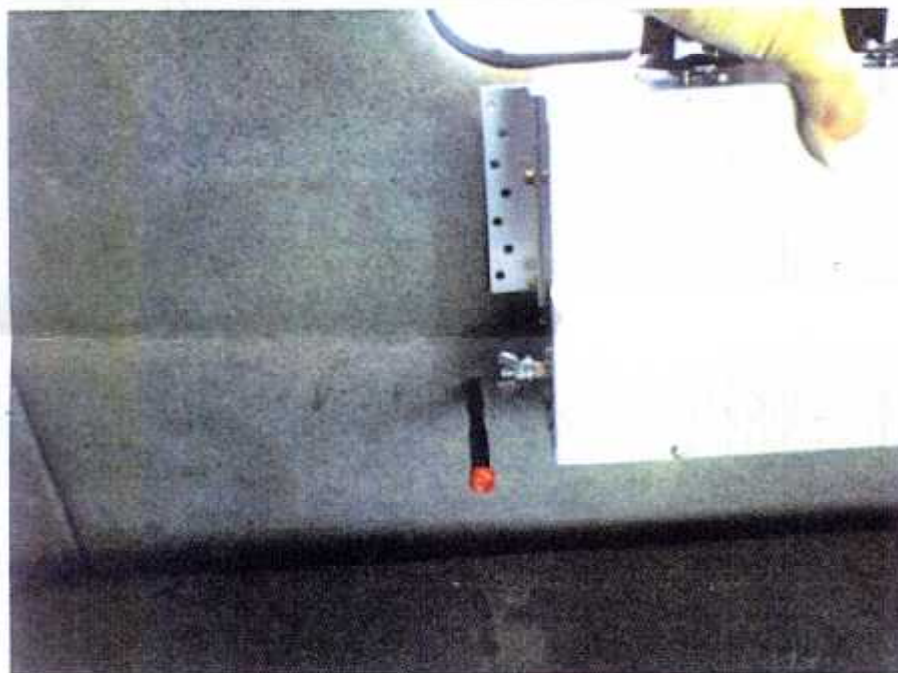


リアの窓の下、約15cm位が中空フレームになっているのでそこに取り付けします。



位置あわせをして、蝶ねじ(出力)の真下にガイド穴を開ける。

注：  
出力の線を最短で車外に出さない  
とパワーのロス(マッチング  
NG)の原因になります。

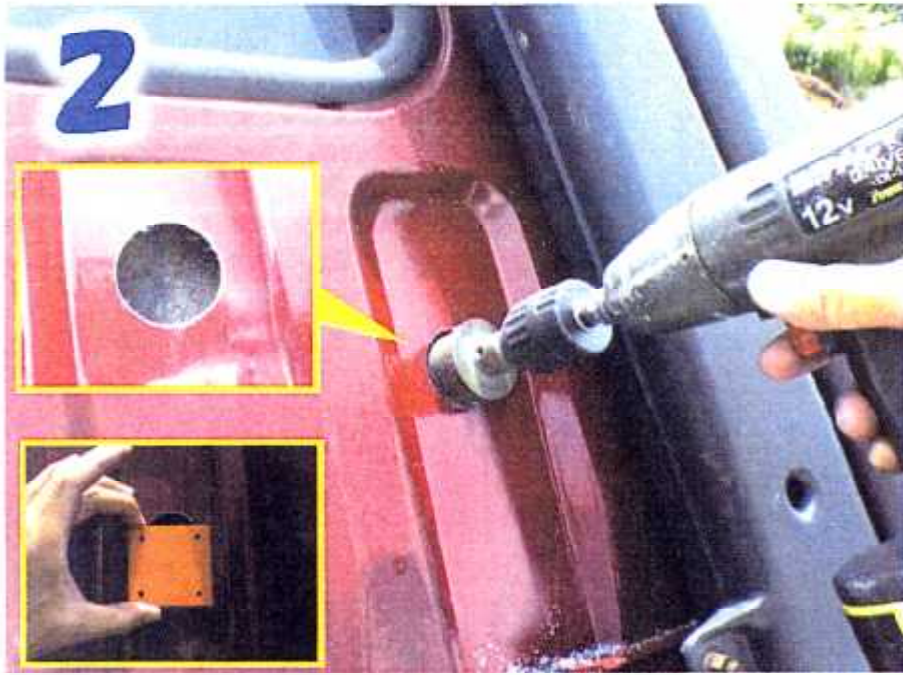


両サイドのアンクルを鉄板ビスを使って、中空フレームにガッツリ固定する。  
内張りを剥がす必要はありません。

注：  
必ず本体のアンクルを使って、  
固定してください。  
パワーのロス(マッチングNG)  
の原因になります。

本体からアース線を使ってシャ  
ーシヤキャビンにアースをとる  
必要はありません。





ガイド穴に合わせて穴を開ける。

**注：**  
20ミリ以上の穴を開けます。  
当社にて取り付けを依頼される  
場合は30ミリ以上の穴を開け  
ます。

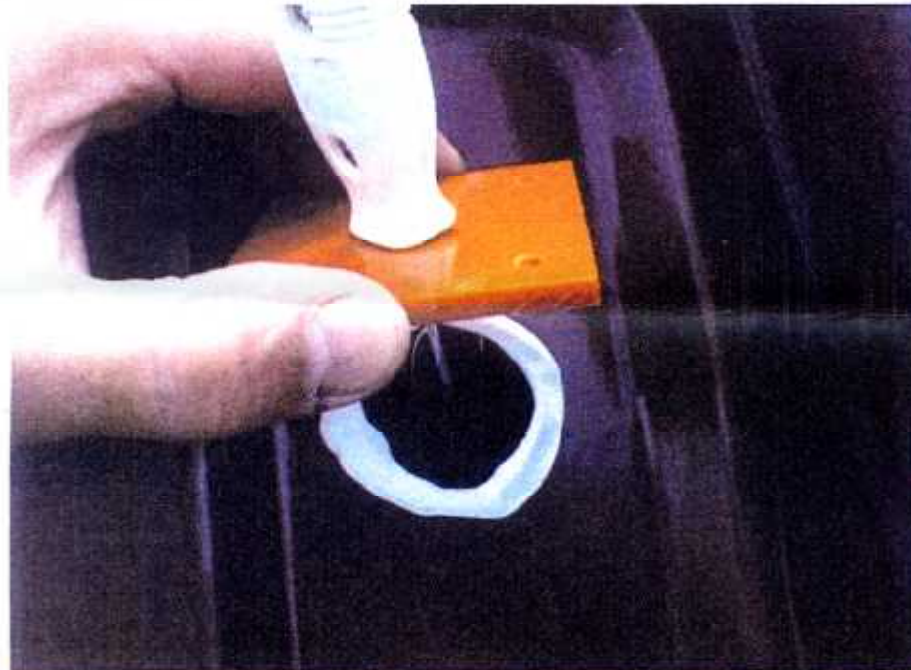
絶縁板を用意する。  
(塩化ビニール・ペークライト等)

**重要！：**  
出力の線と開けた穴のふちが  
近いと高周波がスパークし、  
車両火災の原因になります。

※穴を小さく開けて、ガス用  
チューブやゴムチューブで  
絶縁しても高周波はスパーク  
します。穴は大きく開け  
ましょう。

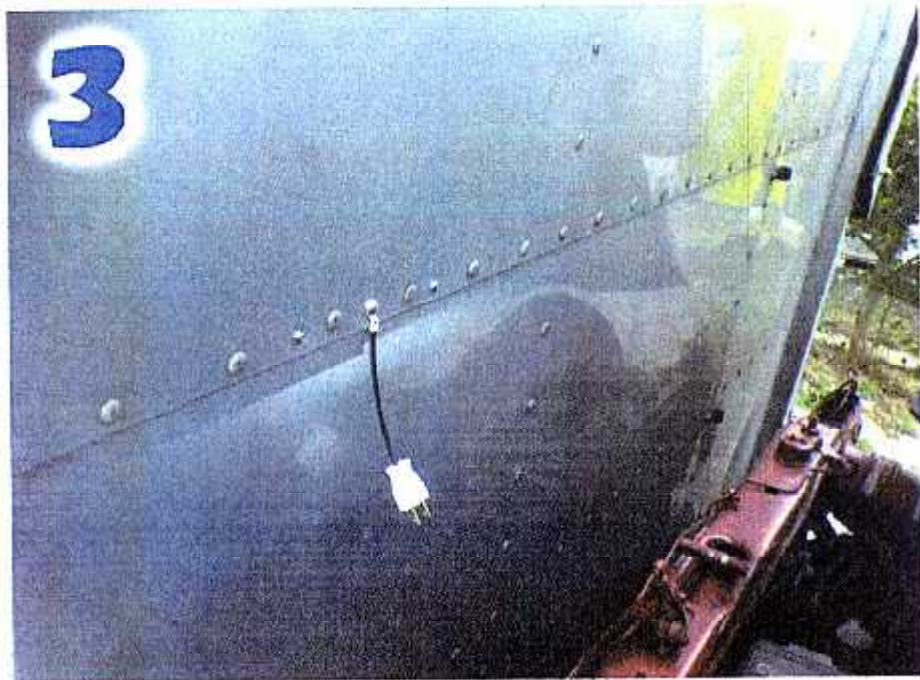
開けた穴をふさぐ様にフタをし、  
絶縁板の中心に出力線用の穴を  
開けて車内に引き込む。

**注：**  
開けた穴の周りに防水用にコー  
キングを塗っておく。



・・・こんなカンジ





キャビン側の出力線の位置より少し高めの所の荷台のフレーム（骨格）部分に給電部分を取り付ける。

注：  
給電部分の位置が低いとパワーのロス（マッチングNG）の原因になります。



キャビンをおろし、出力線と給電部分をつなぎます。

注：  
キャビンを上げ下げする時は必ずコンセントを外してから行いましょう。  
給電部分の端子が折れてしまう原因になります。



出力線を適度の長さに切り、端子をつける。  
ポティーアンテナの出力部分（蝶ねじ）にしっかりとめる。

注：  
出力線が長すぎるとパワーのロス（マッチングNG）の原因になります。

※出力線をあちこち遠わせないでください。キャビンやシャーシ等の金属部分に近づけると高周波がスパークし車両火災の原因になります。